

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

7月号



学校教育目標

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

コミュニケーションの大切さ

校長 岩崎 健治

梅雨が明け、いよいよ本格的な夏がやってきました。6月18日に行われました土曜参観では、多くの保護者の皆様にお越しいただき、子どもたちの様子を参観していただきましたこと、心より感謝申し上げます。

6月14日には、天候が心配される中、なかよし遠足（全校遠足）が実施されました。子どもたちは、それぞれのグループがリーダー6年生を中心として、思い思いに楽しんでいました。高学年の児童が上手に低学年の子たちをリードして、よい関係を築きながら自分たちでできる活動を仲良く楽しく過ごしていたのが印象的でした。相手を思いやる優しさや励ましの言葉、一人ひとりの頑張りなどが随所に見られ、子どもたちの成長を感じることができました。



《花壇サポーターの方が植えてくださった花》

近年の情報機器の普及によって、スマートホン等の様々なツールが人とのつながりを手助けしてくれるものとして当たり前のように生活の中で使われるようになりました。直接人と会わなくても、伝えたい気持ちをインターネットを介してやりとりしたりしながら進め、相手とのコミュニケーションがとれるようになりました。コロナ禍の中、学校もICTの活用が進み、お互いが顔と顔を向き合わせなくても相手とのつながりがもてるなど便利になりました。

一方で、相手の顔や表情が見えないことで、その場の雰囲気や相手のちょっとしたしぐさ、言葉のニュアンスなどを受け取りにくくなることもあります。そのことで、相手に対する誤解が生じたり、様々なトラブルに巻き込まれたりするケースもあります。

本来、他者とのコミュニケーションは、お互い顔と顔を向き合わせながら、相手に関心をもつこと、自分の心を開くこと、相手に心を寄せること、そしてそれを言葉や行動に表していくことだと思います。人を思いやる優しさや他者の理解は、人との会話やかかわりの中から生まれてきます。学校では、子どもたちの様々な教育活動の中で、人と豊かにかかわることを大切にしていくことでコミュニケーション能力の育成を継続的に考えています。あらゆる機会や場面で、学校や、家庭、地域の中で、豊かに人とのかかわり、楽しく話したり、表現したりする子どもたちの姿がたくさん見られるよう、日々の教育活動を進めて参ります。